2026年11月26日

各位

会 社 名　東邦ホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役 社長執行役員 CEO 枝廣　弘巳
（コード番号 8129 東証プライム市場）
問合せ先　専務執行役員 経営戦略本部長　河村　真
（電話　03－6838－2803）

平時・有事の双方に対応する「ドローン医薬品配送」の実証実験を実施
～福島県南相馬市にて、地域拠点を活用した複数機運航・即応モデルの有効性を検証～

東邦ホールディングス株式会社（本社：東京都、代表取締役 社長執行役員 CEO：枝廣 弘巳、以下「東邦ホールディングス」）は、イームズロボティクス株式会社（本社：福島県、代表取締役社長：曽谷 英司、以下「イームズロボティクス」）と共同で、福島県南相馬市にてドローン配送サービスの実証実験を行いましたのでお知らせいたします。

イームズロボティクスは経済産業省 中小企業イノベーション創出推進事業（SBIR 事業）に採択された「高性能ドローンの開発・社会実装」プロジェクトの一環として、ドローン配送サービスの実証実験を実施しています。本実証実験には、一等無人航空機操縦士を含む当社グループの有資格者が参加し、平時から有事へのスムーズな移行を可能とする医薬品物流体制の確立に向けた検証を行いました。

記

1.実証実験の目的

大規模災害発生時には、道路の寸断や交通規制による物流機能不全が重大な課題となります。本実証実験では、東日本大震災等の被災経験から防災・減災を推進する南相馬市と連携し、災害時の物流確保などの社会的課題解決に資する取り組みとして、以下の観点からドローン配送の検証を行いました。

・地域拠点を活用した物流モデルの実用性検証
・1名のオペレーターによる複数機運航の手順や安全性の検証
・平時のシステムを活用した即応性のある有事モデルの実用性検証

2.実証実験の概要

実施日	2026年10月13日～10月16日
実施主体	イームズロボティクス株式会社
共同実施者	東邦ホールディングス株式会社
協力者	TISI株式会社(システム開発)、南相馬市(実証協力)
使用機体	イームズロボティクス社製マルチコプターUAV-E6150MP 操縦方法：遠隔オペレーターによる自動操縦
想定フロー	①BtoB：医薬品卸→ドローン配送拠点A→ドローン配送拠点B→医療機関・薬局 ②BtoC：薬局→ドローン配送拠点→患者宅 (協力医療機関：市内クリニック、協力薬局：共創未来南相馬ひまわり薬局)
輸送対象物※	①BtoB：医療機関・薬局向け医薬品 ②BtoC：患者向け処方薬

※今回は模擬品を使用

3.実証実験の結果

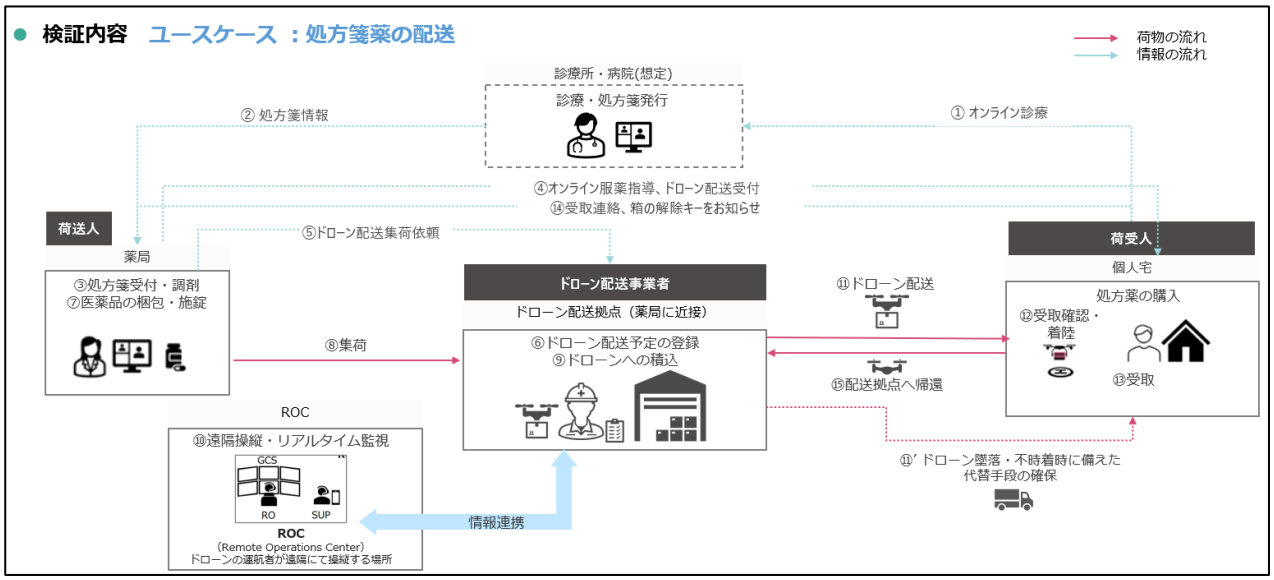
本実証実験により、平時と同一の拠点管理システムを用いることで、災害発生時にも迅速かつ確実にドローンによる医薬品配送への切り替えが可能であることを確認いたしました。

東邦ホールディングスは今後も「安心・安全な医薬品流通」という社会的使命のもと、先端技術の積極的な導入と持続可能な物流ネットワークの構築に貢献してまいります。

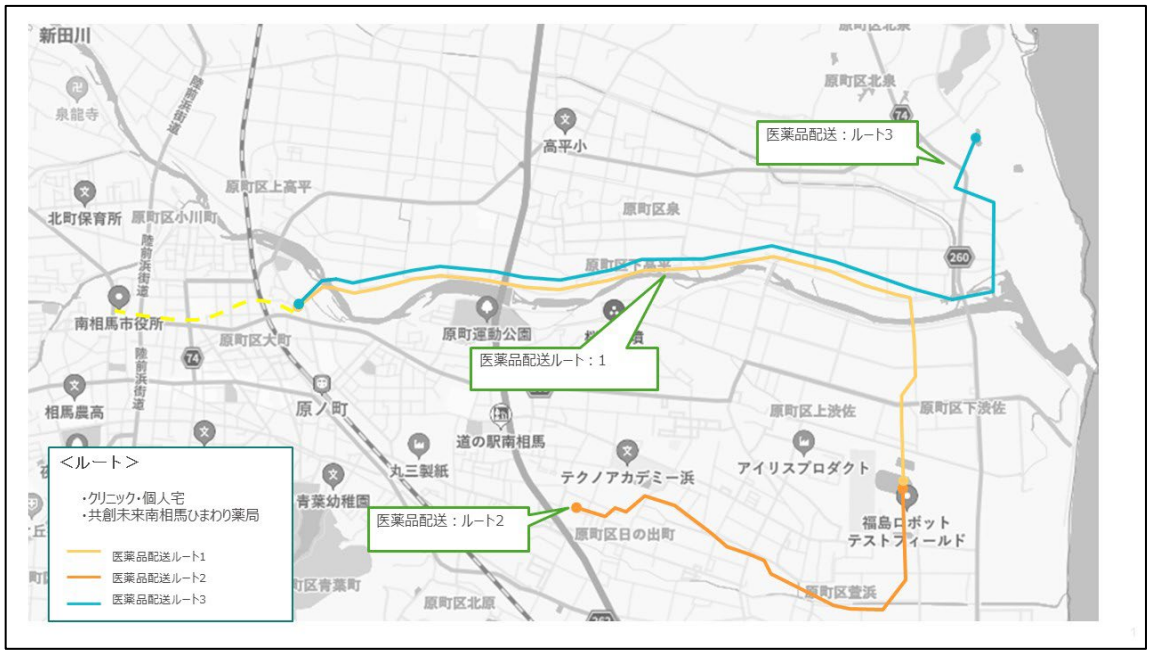
【イームズロボティクス株式会社について】

イームズロボティクス株式会社は、産業用ドローンを中心とした自律機器の製造販売、ソリューションによる提案と開発を行っています。オール MADE IN JAPAN の安全性、クオリティ、サポート体制を提供し、ドローンによる効率的かつ柔軟な配送ネットワークの構築を通じて社会課題の解決に貢献しています。

イームズロボティクスの詳細情報は、https://www.eams-robo.co.jp/をご覧ください。



図：BtoC 医薬品配送ユースケースにおけるフロー



図：ドローン配送のルート

出典：Google マップ（地図データ ©2026 Google）

以上